# 令和元・2年度 大島地区研究協力校

### 奄美市立住用中学校 「ICT 利活用教育」 公開研究会

令和3年1月27日

# 研究主題 基礎・基本が定着し、共に学ぶ生徒の育成 ~ICT 機器を利活用した学習指導法の工夫~

#### 研究仮説

仮説1 ICT機器を活用し,生徒の興味・関心を高め,学習意欲をもって授業に取り組ませることで,生徒が基礎・基本を身に付けることができるのでは. ないだろうか。

仮説2 根拠をもった自分の考えを発表し,相手の考えを聞き,自分の考えを繰り返し再構築していくことで共に学ぶ生徒を育成できるのではないだろうか。

#### 研究の実際

仮説1

実践

教師が活用

生徒も活用

教師も生徒も活用を工夫

効果

学習意欲が向上

学習意欲がさらに向上!

授業の効率アップ

学力向上

実践の様子



発音だけでなく 口の動きにも注目 してください。



インターネット で調べたことをパ ソコンに入力して まとめています。



タブレットのソフトを使 用してグループで話し合い ながら実験をしてください。 実験が終了したらタブレ ットに入力してください。

仮説2

実践

根拠のある資料,発表の仕方を ICT 機器を使用して指導



根拠のある資料を選びプレゼンテー ションソフトを使用して発表



プレゼンテーションソフトを使用し て発表・議論・まとめの活動

効果

ICT 機器の活用が上達

資料の選択, 作成が向上

声の強弱など発表の仕方が上達

深まりのある議論 価値観が広がる

実践の様子



自分で作成 した資料でプ レゼンテーシ ョンソフトを 使用して発表 しています。



2 人で協力して 資料を作成しプ レゼンテーシ ンソフトを使用 し,協力しながら 発表しています。



自分の考えをプレゼ ンテーションした後に, **質問に答え, 再度, 議論** して考えを再構築しま

これを繰り返すこと で深まりのある話合い ができました。

#### 研究の成果

イラストや写真を使用するので生徒が顔を上げて話を聞く ようになりました。



教師から

生徒が自分たちで ICT 機器の操作をすることで積極的に授 業に参加するようになりました。 操作の仕方だけでなく,学習内容に対しても生徒からの質問

が多くなりました。

小テスト等の正解率が向上しました。

- 生徒のプレゼンテーションソフトの活用の仕方が上達し,分 かりやすい資料の選び方や示し方、意見の強調の仕方が上達
- しました ICT 機器を活用することで事前の準備や授業の展開の中で 時間の短縮ができるようになりました。
- 生徒の ICT 機器の使用の仕方が上達し, 自分の考えで動く ようになりました。



生徒から

- イラストや写真を見ながら説明を聞くことで授業が分かりや すくなりました。
- 自分で ICT 機器を操作することができるので、授業がより楽
- しく感じられるようになりました。 調べたいことが ICT 機器を使うとすぐ調べられるので時間を
- 有効に使えるようになりました。 ICT 機器を使用することで世界中の人の意見も知ることがで **きるので考えが広がり,意見交換が積極的になり,異なる考え**
- も認めやすくなりました。
- プレゼンテーションソフトを頻繁に使い発表することにより、資料の選び方や示し方が上手になりました。また、発表を することも聞くことも楽しくなりました。
- パソコンの使用の仕方が速く上手になりました。

## 研究発表・研究授業・分科会・全体会の様子





研究授業(社会)





分科会(社会)



全体会(開会行事)



研究発表



全体会(指導講話)

#### 公開研究会に参加された先生方より

- ICT 機器の活用の可能性や方向性を学ぶことができました。 生徒それぞれの ICT 機器活用スキルが素晴らしいと感じま した。生徒自身が活用することでスキルが向上することが分か
- りました。 少人数学校の深い個別指導のよさが出ていました。
- 参加したことで ICT 機器の活用を積極的に指導に取り入れた 0 いという気持ちになりました。
- ICT 機器の活用はあくまでも「手段であり,目的ではない」 という言葉が印象に残りました。どのように使えるか勉強した いと思いました。
- ICT 機器の活用がなかなか難しいと感じていましたが、今回 参加して気持ちが楽になりました。
- 活用例が,ありがたい資料でした
- 多くの先生方と議論や情報交換ができ、充実した時間を過ご せました。
- ICT 活用や GIGA スクール構想等に触れた指導助言が参考に なりました。
- 少人数での ICT 機器活用の効果的な手立てを考えるよい機会 0 になりました
- データの根拠が主観的だったので, 客観的なデータで効果や 課題が挙げられているとよかったと思いました。